阪神クラブ

祝創立 60 周年

（平成 25 年 12 月 1 日発行）
発　行　JARL 阪神クラブ
責任者　JA3AOP 杉山　暁
編集者　JA3JND 黒江俊晴

平成２５年度総会参加者

JARL 阪神クラブ設立 60 周年　おめでとうございます。

JA3AOP/杉山　暁

JARL 阪神クラブ設立 60 周年おめでとうございます。

2013 年は JARL 阪神クラブの設立から 60 周年、還暦の年にあたります。60 年前の 1953 年（昭和 28 年）は、まだ戦後の名残が色濃く、沢山の方々が外国から舞鶴へ引揚げてこられました。この年は九州を中心に西日本で大きな水害が発生しました。また、冷害により米は凶作で厳しい状況の年でありましたが、NHK と民放が TV 放送を開始し、国際電信電話会社が発足するなど情報通信界では新しい時代へのスタートが切られました。

当時、私はラジオ工作などが好きな中学生でした。翌年、高校に入学するとハムのコールサインを持つ同級生にめぐり合いました。彼は病気のため休んでいたために同級生といってもだいぶ年上でした。彼のシャックを訪れたりして、私も開局したいと思い、先ずは通信型受信機の製作に取りかかりました。姫路に住んでいましたので部品を買いに大阪の日本橋まで何回も通いました。僅かなお小遣いではほんの少しの部品しか買えませんので、日本橋通いは何回もかかります。それでも、高校２年の終わりころには音が出るようになって完成に近づきました。

しかし、３年生は受験勉強ということで道具や完成間近の受信機は密封しました。物作りや実験はできませんので、送信機やアンテナの計画を始めました。しかし、アンテナの計算やフィーダーを流れる高周波電流の計算は高校で習う数学と物理だけでは手に負えないので、学校帰りに立ち寄った本屋の専門書のコーナーには魅力的な本がありました。それらは電子管、交流理論、無線工学などの本で、私の疑問を解決してくれました。それらの著者の先生がたの居られる大学へ入りたいと思うようになりました。念願かなって合格しました。その後、家族も神戸に引っ越しましたので、1958 年に東灘区で開局できました。この頃、阪神クラブに入れてもらいました。５、６年間はよく運用していましたが、やがて仕事が忙しくなったり、杉丸太と竹で作ったアンテナ支柱が強風で倒れて JA3AOP は自然消滅しました。この間、阪神クラブの行事にはあまり参加できていませんでした。

その後、30 余年の QRT の後 1997 年にアマチュア無線を JM3MPF のコールサインで再開しました。幸運にも数ヶ月後には旧コールサインの復活の制度で JA3AOP が蘇りました。ベランダアンテナとモービル運用で楽しんでいました。その頃、梅木さんがよく CQ を出されていたので　阪神クラブへの入会をお願いして現在に至っています。

大好きなアマチュア無線は一人で楽しむことも出来ますが、同好の士と共に活動できれば、更に楽しさが豊かになります。再び阪神クラブに入れて頂いたおかげで、若き日の熱中や感動を蘇らせる機会を与えられました。私にとって阪神クラブは無線を楽しむ上でとても大きな恩恵を与えてくれています。

今年で設立 60 周年、この長い間クラブの運営、発展に努力された諸先輩に感謝いたします。60 周年を迎えて阪神クラブ賞が今年４月に改新されましたが、七市の市花をあしらった旧阪神クラブ賞を開局当時に頂いた QSL カードで達成しようと思いました。必要な 10 枚のカードを 1960 年頃のカードで揃えることは出来ませんでしたが、1958 年から 1961 年のカード７枚 と 2000 年代のカード３枚で申請しました。そして旧クラブ賞の最後の番号#1976 の阪神クラブ賞をいただきました。申請に使ったカードを図１に掲載します。1958 年から 1961 年のカードはいずれも 7MHz A3 の交信です。旧阪神クラブ賞の賞状のデザインを一部お手伝いをしたので思い出に残る AWARD となりました。

図１　JARL 阪神クラブ賞申請に使った QSL カード

図２　市の花をあしらった阪神クラブ賞　第 1976 号

今年は先回の 50 周年記念行事以後の 10 年間のクラブあるいはクラブ員の活動をクラブ報や記念 CD で記録に残されます。さらに 75 周年、ダイアモンド・アニバーサリーへと阪神ク

ラブが発展されることを念願しています。そのためにはアマチュア無線の活動が盛んでなくてはなりません。その源泉の一つはそれぞれの局が出来る限り多くの機会に電波を出して活動することだと思います。電波を出し、コンタクトをすることで人と人との繋がりが出来、アマチュア無線の輪が広がって行くことでしょう。

　阪神クラブが今後とも地域のアマチュア無線の活動の一つの拠点として継続、発展することを願っています。

設立 50 周年から 60 周年まで 10 年間の歩み

- 創立 50 周年記念移動運用　平成 14 年 10 月 12～13 日
  ペンションさんふらわー　参加者 10 名
- 創立 50 周年記念祝賀会　平成 15 年４月６日　梅田明月館尼崎店　参加者２９名
- 創立 50 周年記念 CD・QSL カード・ラガールカードの作成・配布　平成 15 年４月

- JA3YAA　1kW免許　　平成１９年１０月１日・・・１アマ資格者多数輩出
- AA DX Contest(CW) コンチネンタルリーダー　　平成２０年および２２年
- JARL 主催、JARL 地方本部・県支部主催コンテスト入賞実績多数
- FCC ライセンス取得者による海外運用(C6,KH0,KH2,T8etc)が盛んにおこなわれる。
- EH アンテナ製作講習会開催
  - 平成 19 年５月 27 日　関西ハムフェスティバル　参加者 25 名
  - 平成 20 年１月 27 日　関西ハムシンポジュウム　参加者 23 名　見学者 11 名
- アワード（阪神クラブ賞）リニューアル　平成２５年４月

アパマンハム（５Ｆ）の賞状です。　　JA3ZK/小林昌夫

私は、アワードマニアではないのですが、ハムライフを続けてきた足跡を振り返ってみました。
西宮市で１９５６年１２月に新設検査を受けて開局。８０７（7MHz１０W）とダイポール
　１９５７年７月に、初めてのアワード　阪神クラブ賞　を受ける。
　１９５７年９月に、ＷＡＪＡ（４６都道府県、沖縄は、当時米軍の管理下）
　ハムライフをほそぼそと続ける。

神戸市へ１９７０年に転居。５階のベランダにバーチカル（手摺アース）を出し、５０Wとマルチバンドで、ＱＲＶする。
　１９７９年　ＷＡＣＡ（６４７全市）
　１９８２年　全日本読売一万局賞を受ける。全国１４２人目、兵庫県で、４人目。
　表彰式にＸＹＬと同伴。立食パーテイーでＸＹＬの機嫌がよくなったようだ。

１９８６年　WAGA（５６９全郡、現在は減少して３８０郡）
２０００年　全国町村交信賞（2，６０８全町村、現在は、大きく減少。あと少しになると、ワッチしていてもなかなか聞こえてこない）
２０１１年2月　WAKU（１７５全区、２０１０年４月より新設）
ＮＹＰ　（毎年１月２日のＮＥＷ　ＹＥＡＲ　ＰＡＲＴＹ）現在３まわり目

ＡＪＡ　各バンド毎の市郡区の総計､多くのバンドにでないと増加しない(現在 11,000)
ＪＣＡ　１９９７年７月にＪＡＩＡが新設。
（AからZ。AAからＺＺ。ＡＡＡからＺＺＺまでの異なるサフックスの合計。現在　12,000。パーフェクトは　18,278）
　ハムライフも何か自分の目標をみつけると、続くものですね。

75m/80m バンド　ロータリーダイポール　CD78 の修理・調整　　JA3AOP /杉山　暁

　75m/80m バンドのロータリー・ダイポール CD78 の動作がこの半年以上不調でした。
原因がつかめぬまま放置していましたが、2013 全市全郡コンテストを控えて修理を計画しました。まず、アンテナの状態を調べるため TX の端子側から調べます。最近購入した Rig Expert 社の AA-600 アンテナアナライザーの TDR(Time Domain Reflectometer, 時間領域反射計)モードで同軸ケーブルの各点の反射の状況を調べました。

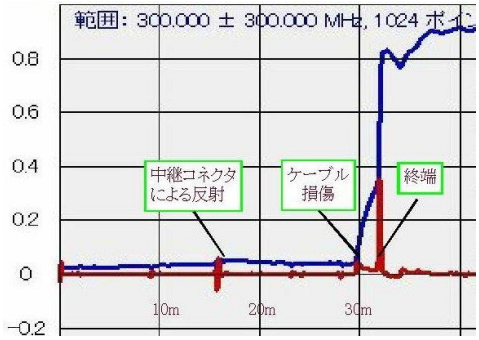


図 1．不良ケーブルの TDR(時間領域反射波応答図)

図１の横軸は左端がアナライザーの接続点で右方向にケーブルに沿った距離を示しています。縦軸は反射波の大きさを送信波に対する比率で表します。赤色のグラフはインパルスに対する

応答を、青色のグラフはステップ信号に対する応答です。図 1 のグラフはアンテナ側をオープンにしたときの応答です。約 17m の点で小さな反射があります。これは中継コネクターで同軸ケーブルを繋いでいることによります。さらに先の約 30m 地点で少し大きい反射があり、終端の 33m 点まで連続的に反射が発生し、ステップ応答にも影響が現れています。右端の大きな反射は開放のケーブル端によるものです。このケーブルはアンテナ側から 3m ほどの地点に傷があり先端の 3m がダメージを受け同軸ケーブルとして良好に動作していないことが判りました。まずは、ケーブルを交換することにしました。

図 2、図 3 は交換に使用するケーブルの TDR グラフです。ケーブル端開放で測定しています。開放終端の反射のみで途中での反射はありません。ケーブル交換を終わり、80m バンドの SWR を測ると良好でしたが、75m バンドは良くありません。日没時間切れでその夜は 80m バンドで QRV しました。JA3KIO 満田さんからもコールを受け久しぶりの 80m バンドの QSO を楽しみました。さて、一夜明けて 75m バンドのチューニング不良を探ろうとしましたが、75m バンドはおろか 80m バンドも

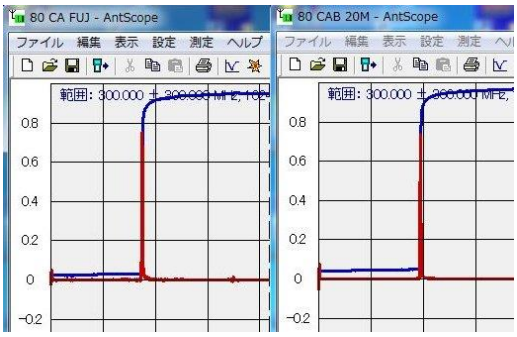


図 2. 交換用ケーブルの TDR　図 3. 新品ケーブルの TDR

全くチューニングがとれません。昨夜の QSO で瞬間的に SWR 計が飛び跳ねる現象が気になっていました。どうもエレメントのパイプのつなぎ目などにも接触の問題がありそうです。
また、以前の強風でタワーポールに固定しているクランプが少し回りアンテナとカップラーボックスをつなぐ接続線がボックスを強く引っ張り、ボックスに亀裂ができていて雨水の浸入があるようです。修復のためカップラーボックスを持ち帰り、エレメントの分解修理の応援をクラブの ML でお願いしました。カップラーボックスは内部の半田付けなどの不良がないか確認し、亀裂をパテで補修し、各コイルのインダクタンス値を測定しました。カップラー回路はオペレーションの際、手元に置いたスイッチでカップラーボックス内のリレーの ON/OFF の組み合わせで運用周波数に応じて回路のコイルの値を切り替えて整合させています。

さて、淡路シャックでのアンテナエレメント分解修理の前夜に、念のため回路の動作を確認すると、リレー1 個が接点不良で OFF になったままであることが分かりました。応急処置として他のリレーを追加して回路が正しく動作するように処置をしました。

修理作業当日は残暑が厳しい中での作業となりました。また十分に準備ができていなかったので応援にきてくださった方々には、不便をおかけしました。JE3KST 近澤さんからは補修作業用にテープ類をご提供してくださり、皆さんのお知恵を拝借してエレメントパイプの接触の補強やパイプ内の水抜き対策などを施して、エレメントの補修ができあがりました。このアンテナの基本となるエレメント自体の共振周波数を測ると取扱説明書に示されている周波数にぴったりと合致しました。CD-78 アンテナは見事によみがえりました。
JE3BOD 木曽さん、JE3KST 近澤さん、JR3SZZ 三枝さんに　感謝いたします。

ここまで出来ると、後はマッチングボックス内のコイルを伸縮して指定の周波数で SWR が 1 に近づくように調整をすれば完了となります。翌日、一人での作業は少々時間がかかりましたが、カップラーボックス内のコイルを合わせこむことが出来ました。

図４に CD78 アンテナと BS81C チャンネルカップラーの簡略図を、図５に調整が完了した CD78 の SWR のグラフを示します。

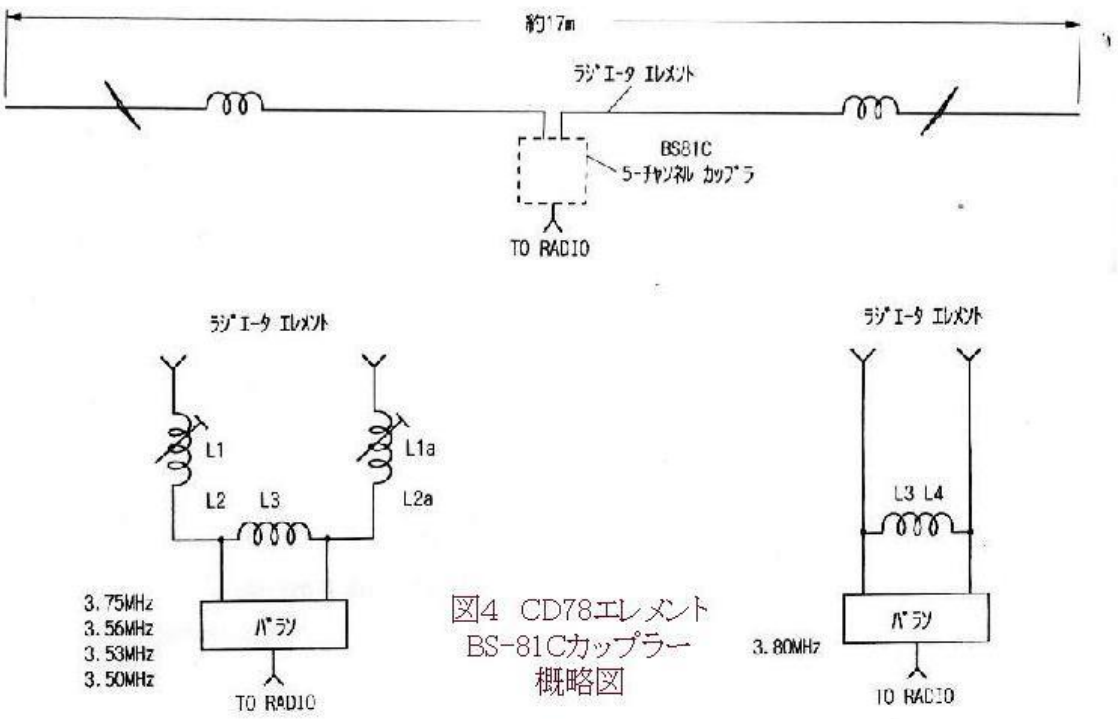


図 4．CD78 エレメント、BS81C カップラーの概略　　（CD78 取扱説明書より）

CD78 アンテナは BS81C で調整できるのは、3,500~3,575, 3,745~3,770, 3,791~3,805 kHz のバンドで、3.6MHz 帯と 3,702~3,716kHz をチューニングできません。80m バンドおよび 75m バンドの全ての周波数でチューニングがとれるカップラーに改造しようと考えていますが、いつ実現できるか判りません。

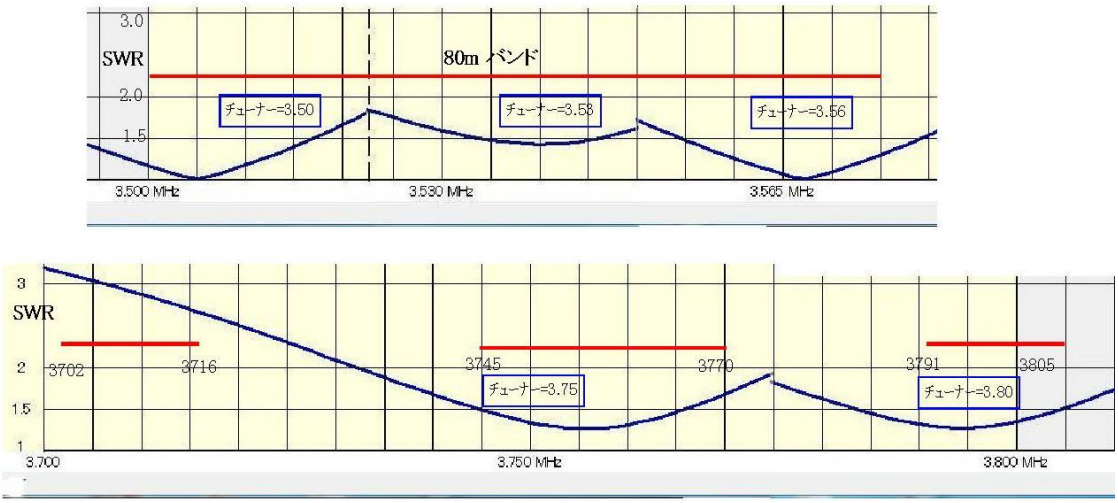


図 5.　修理完了した CD78 の SWR

アマチュア無線と私

JA3KIO/満田克己

2013 年２月に入会させていただきました。自己紹介を兼ねて書かせていただきます。

コールサインは 40 年ぐらい前、10 代の時に取得したもので、その当時自作が一般的でしたので、私もまずは受信機を自作しました。送信機も自作しようと部品も少しずつ準備していましたが技術知識不足と金銭不足で結果、幻に終わってしまいました。従って運用は学校のクラブ局で、しばらく運用しただけです。ただ当時、アンカバーが多くまた交信内容も長電話のような内容が多かったので、本当の無線交信の面白さを知らずに次第に活動もしなくなってしまいました。二十を過ぎて、家電メーカに入って、約１０年間は回路設計、あとの 30 年近くは CRT の設計をやっていました。ずっと電気関係だったのですが、50 代半ばまでは、民生電子機器の開発競争の真っ只中にいましたので、とても趣味に無線をする心のゆとりがありませんでした。50 代後半になってやっと自分の時間も取れるようになりましたので、U/V のハンディー機を買って、コールサインも復活させてもらい再開局しました。

無線内容を聞き出すと、昔と異なり、結構真面目な交信をしており以前のような華やかさはないものの奥深いものを感じました。仕事を別にしても元々電気が好きでしたので、上級免許も取得し HF も始めました。

阪神クラブは、その当時から知っていたのですが、コンテストでいつも上位にいる全国有数のクラブということで敷居が高く、とても仲間入りできるレベルではないと入会を控えていました。それでも東灘、西宮近辺の方が多いせいか 430MHz で JA3TZT 梅木さんと何度か交信させてもらい、ほかに JA3AOP 杉山さん、JL3WXS 前田さん、HF では JA3ZK 小林さんに拙い CW で交信させてもらったりしていました。またコンテストではいつも聞こえている JA3YAA にコールしておりましたので、たくさんのオペレータの方と交信させていただいています。

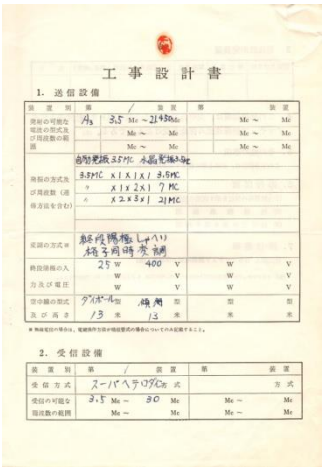
一昨年、元の会社 OB 無線クラブで JN3QNG 吉田さんと知り合い阪神クラブもコンテスターだけでなくいろんな方がおられることを教えてもらいました。また芦屋浜でアンテナ実験をしていたら JR3SZZ 三枝さんから声がけいただいたりしました。そんなこともあって阪神クラブ賞を申請した勢いで、入会させていただきました。

入会させてもらってから、何度かコンテストにも参加させてもらっていますが、驚いたことは、阪神クラブのコンテスト交信は、コンテスト時間内をフルに使い、食事も時差で取りポイント獲得に一丸となっていることです。今までは無線も遊びよ、コンテストは参加することに意義あり、としか考えていなかったのですが、『ポイントはより高く』を目指して、注力することに新たな楽しみも生まれてくることを少し知りかけた段階です。とは言っても 60 からの手習いに近いので無茶はできませんが、落ちこぼれにならないようにしぶとく細く続けていきたいと思っています。

さて、個人での運用ですが、自宅で一応 1.9～430MHz まで、2m 以外は QSO できるようになっているのですが、単独専用アンテナは７MHz の逆Ｖ - DP と 430MHz 八木だけです。従って実際の QSO はほとんどが７MHz です。また場所柄、マンションや隣近住居が立て込んでおり、電子機器への妨害を気にしながら、QSO していますので、自宅からは呼びかけが多く、あまり CQ は出しておりません。たまに芦屋浜あたりへ気分転換に移動運用に出かけます。この時は、時々CQ も出しますので聞こえておりましたらよろしくお願いします。

アマチュア無線業務経歴書　　JE3BOD/JA4EUF/木曽英介

【アマチュア無線を始めてやめる】
１９６６年４月電話級アマチュア無線技士取得
同年１０月ＪＡ４ＥＵＦ開局する。
１９６８年３月高校卒業と同時にＪＡ４ＥＵＦ廃局して西宮市にＱＳＹする。


工事設計書

1. 送信設備

装置別	第 / 装置	第	装置
発射の可能な電波の型式及び周波数の範囲	A3 3.5 Mc ～ 21450kc		Mc ～ Mc
	Mc ～ Mc		Mc ～ Mc
	Mc ～ Mc		Mc ～ Mc
発振の方式及び周波数（逓倍方法を含む）	自励発振 3.5MC 水晶発振3.5MC		
	3.5MC X1X1X1 3.5MC		
	〃 X1X2X1 7 MC		
	〃 X2X5X1 21MC		
変調の方式	終段陽極しゃへい 格子同時変調		
終段陽極の入力	25 W 400 V	W	V
方式及び電圧	W V	W	V
空中線の型式	ダイポール型 傾角 型	型	型
及び高さ	13 米 13 米	米	米

※ 無線電話の場合は、電波輻射方法の種類欄の備考欄についてその旨記載すること。

2. 受信設備

装置別	第 / 装置	第	装置
受信方式	スーパヘテロダイン 式		方式
受信の可能な周波数の範囲	3.5 Mc ～ 30 Mc	Mc ～	Mc
	Mc ～ Mc	Mc ～	Mc

【ＣＷにチャレンジ】
　再開局して１年がたちＨＦでの出力１０Ｗではパワー不足を感じ、電信なら２５Ｗで結構飛ぶよ！との声に誘われ、３アマを目指して電信練習テープを買い込み練習を始める。
１９９２年１１月３アマを受験する。通信術の試験では頭の中が真っ白になり、他の受験者のエンピツで書く音が耳触りのうえ緊張で手は震えるわで、どう聞いてどう書いたか全然覚えていなかったがとりあえず合格した。
　従事者免許を受領後、２５Ｗ局の変更申請を提出、ケンプロのスクイズキー ＫＰ－１００を購入しＣＷ送信練習、ＣＷバンドで実際の交信をワッチして受信練習を始める。
　１９９３年４月初旬局免が届くもＣＷで電波が出せずにいたが、深夜に誰も聞いてないだろうと、送信練習のつもりで２１ＭＨｚで無謀にもＣＱを出してしまう。思いがけず一発でコールバックがあり大パニックに陥いり訳の分らぬまま記念すべき？　ＣＷの１ＳｔＱＳＯを終える。
　１Ｓｔ ＱＳＯがトラウマになり３ケ月はＣＷで電波は出せずにいたが、７月中旬ころからコールサイン、名前、ＱＴＨが確認できた局を相手に自局が送信する内容はメモを見ながら遅い速度のラバースタンプＱＳＯで徐々にＣＷでのＱＳＯに慣れてくる。当時お相手頂いたＯＭの方々には心より感謝しています。

【上級資格を目指す】
　ＣＷの運用に少しなれてくると、アマチュアに許可される全てのバントに出たくなり
１９９３年１０月２アマを受験し合格。ＣＷ運用での慣れの為か通信術の試験は前回よりは余裕をもって臨めた。
１９９４年２月　１.９～５０ＭＨｚ　１００Ｗの固定局を開局する。
１アマを目指してＣＷ和文の練習テープを購入して練習を始めるが挫折。

１９９６年１０月　１アマの試験から和文の通信術がなくなったので受験し、通信術を科目合格する。２年間の猶予期間中に工学、法規を受験して合格すれば良かったのだが、仕事が忙しくなってきたうえにハイパワー局を開局する予定も環境もなかったので、工学、法規の受験を見送るが、後に後悔することとなる。

【ＪＡ４ＥＵＦ復活開局】
１９９７年４月　旧コールサイン復活制度を利用して実兄宅を常設場所として開局する。ＪＡ４ＥＵＦ/３を西宮市で運用するが、ローカル局からは二つもコールサインあるとややこしぃと不評であった。

【阪神クラブ入会】
　記憶が定かではないが、１９９７年頃阪神クラブのホームページにあったＥメールのメーリングリスト登録フォームからクラブメンバーでもないのに、登録したのをきっかけに入会する。

【阪神クラブでの活動】
　入会当初は真面目に月一回のミーティングに参加する。淡路花博記念局８Ｊ３ＪＦＸ、ＱＲＰ記念局８Ｊ３ＶＬＰ、阪神大震災復興記念局８Ｊ３ＥＱ等のクラブ移動運用に参加。クラブ参加の４大コンテストに参加。ＥＨアンテナ製作講習会のお手伝い。

【コンテストに目覚める】
　当初は個人コールでの参加は短時間、クラブでは参加することに意義を見出すような参加であったが、もう少し頑張って登録クラブ対抗年間総合順位で上位に食い込もうとの合意で、２００５年クラブとして初めてのＡＡ ＤＸ CW部門にＪＡ３ＡＯＰ、ＪＡ３ＪＮＤ両ＯＭと丹波市のＪＡ３ＡＯＰ　ＯＭのシャックから参加したが、呼びに回るのみで得点が伸びなかった。
　これを機にコンテストではランニングしないと得点を稼げないと、ＡＧＮ ？ 連発のランニングをはじめて他の参加局に多大な迷惑をかけているが厚かましく続けて現在に至りなんとか格好がついてきた。
２００６年以来クラブメンバーの努力で登録クラブ対抗年間総合順位の上位を維持している。

　現在、自身の交信数は９０％はコンテストでの交信です。

【１アマ再チャレンジ】
　クラブ局が１kW局となったのを機にあの時(１９９６年)取得しとけばよかったと後悔しつつ１アマに再々チャレンジする。今回は通信術がないので、１アマの過去問題集を買い込みひたすら法規、工学ともに暗記しなんとか２００８年５月１アマ免許取得。

【ＲＩＧキットを製作する】
　２００６年インターネットのＥＬＥＣＲＡＦＴ/ＫＸ１製作記事に触発され、ＥＤＣよりキットを購入し製作する。部品数のわりに筐体が小さいため結構製作難度がありました。
　ハンダ付け時、ハンダごてでトリマーコンデンサを焼きショートさせる失敗もありました。ＱＲＰ記念局８Ｊ３ＶＬＰで活躍、ＥＨアンテナとの組み合わせで運用後、クラブOMに嫁入り、その後他所に再度嫁入り(再婚？)したもようである。
　２００９年もう少し本格的なものとの思いからＥＬＥＣＲＡＦＴ/Ｋ２のキットを前回と

同じくＥＤＣより購入。キットが宅配便で到着後、開梱したときこりゃ完成するかな！と思ったほど部品数が多くあり腰が引けました。パート毎に組み立てる順番に部品を並べ、説明書どおりコイルを巻き、説明書を何度も確認しながらハンダ付けしてやっと完成する。

調整はデジタルテスター１台あれば、あとは回路のなかで周波数等は測定できるようになっており、良くできたキットであると思う。

その後、ＥＤＣに特別にチェックしてもらい上々の出来とのお墨付きを頂く。現在、ＪＥ３ＢＯＤの主力ＲＩＧとして活躍中です。

【個人局でコンテストに本格的に参加する】

２００６年以来クラブは登録クラブ対抗年間総合順位の上位を維持しているが、さらに順位を上げるには、淡路固定局の得点プラス個人局の得点が必要との考えから個人局運用を考えた時、ＪＥ３ＢＯＤでは移動運用になりフルタイム参加が難しいので、ＪＡ４ＥＵＦを実兄宅で運用する承諾をもらい、２０１０年より福山市より本格的に運用を開始する。

２０１１年ＡＬＬ ＪＡ にシングルオペ オールバンドに参加して思いがけず、４エリア１位の賞状が届く。今までＪＡＲＬの４大コンテストで個人局での入賞は自分には無縁と考えていたので、驚くとともに大感激する。

じゃ２０１２年もと、２匹目のどじょうを狙うが得点は上げたが順位は下がった。何でかな？と自身のバンド別の交信数や入賞局の得点を比較して、7MHz フルサイズのＤＰに１００W出力があれば全国入賞が狙えると確信しました。

２０１３年ＡＬＬ ＪＡ ７MHz CWシングルオペに参加し狙いどおり全国４位、Ｍ２位に入賞する。来年は２匹目のどじょう狙いで同じ部門の参加を検討中です。

阪神クラブに入会してコンテストの面白さを知り、今後もコンテスト参加を続けるつもりです。今後、仕事をリタイヤすれば時間が出来るのでローカルコンテストにも積極的に参加しなければ！

私の無線活動

JH3BYX/廣田隆夫

1995 年１月 17 日、忘れられない阪神淡路大震災で自宅が全壊し、「パンザマスト」だけがむなしく残っていました。落ち込んでばかりもおられませんので、２年後に自宅を新築、２階建ての屋上で無線アンテナを設置できるようにしました。しかし、新築のローンの返済もありなかなか仕事を辞めることができず、ついに 2004 年まで働き続けました。

その後、自宅屋上に６mの伸縮タワーをあげ、手動ウインチで、最大１０mまで伸ばせるようにしました。この最上段に５０MHｚ、２mほど下に２１／２８MHｚの八木アンテナを上げ、少しずつ交信数を増やしていきました。２００８年ごろからは「CW」や「ＲＴＴＹ」、さらに「ＰＳＫ」などのモードも始め、内外コンテスト、ローカルコンテストにも積極的に参加し、２０１２年には年間交信数８０００を超えるまでになりました。

また阪神クラブ参加のコンテストにも参加させてもらい、コンテストでのＱＳＯのやり方などを諸先輩に教わり、こわごわながら「ＣＱコンテスト」を連呼できるようになりました。阪神クラブ諸先輩のおかげだと感謝しています。

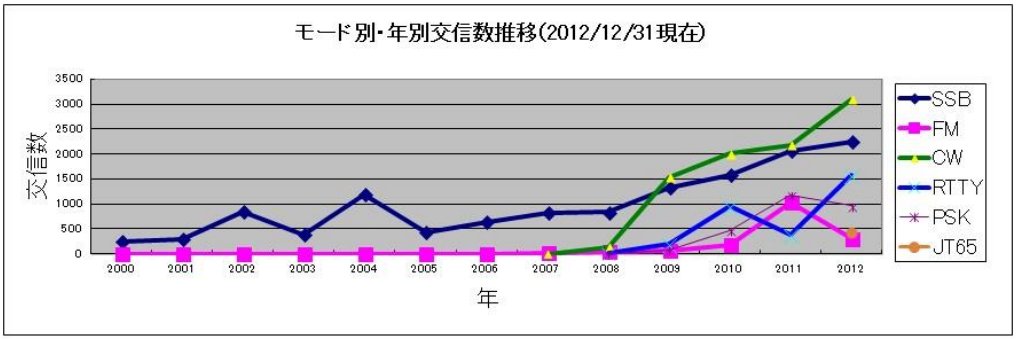
その後自宅での交信が増えていきましたが、自分で次のような無線の目標・モットーみたいなものをたててやっています。

１）できるだけ多くの内外のコンテストに参加し、ログを提出する。
２）ＳＳＢでの海外との交信は言語能力に限界があるので、できるだけＣＷ，ＲＴＴＹ等のモードでラバースタンプ交信を行う。国内では２ｍ等のＳＳＢコンテストにも参加し近隣のハム仲間との交流に努める。
３）毎月の交信数を把握し、目標に達していなければ何らかの手を打つか挽回に励む。
趣味の世界ですので無理をしないでやりたいです。加齢で移動運用などが面倒になったり危険になったりしますので、この交信数のペースをいつまで維持できるかはわかりませんが、先輩諸兄を見習いながら続けたいと思っています。
今後ともよろしくご指導賜りますようお願いいたします。

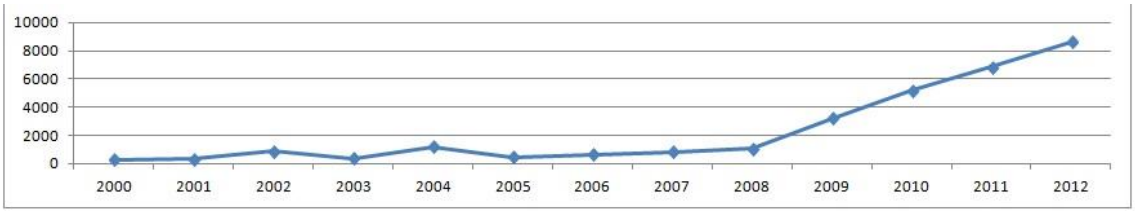
過去１０年ぐらいの交信実績を小さな表・グラフにしてみました。

１．モード別・年別交信数の推移

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
SSB	251	299	847	379	1183	437	632	818	834	1324	1573	2056	2249
FM	1	1	1	1	2	1	1	25	43	57	173	1032	308
CW								2	138	1541	2007	2179	3092
RTTY									24	201	950	372	1579
PSK									2	80	470	1176	957
JT65													437
合計	252	300	848	380	1185	438	633	845	1041	3203	5173	6815	8622



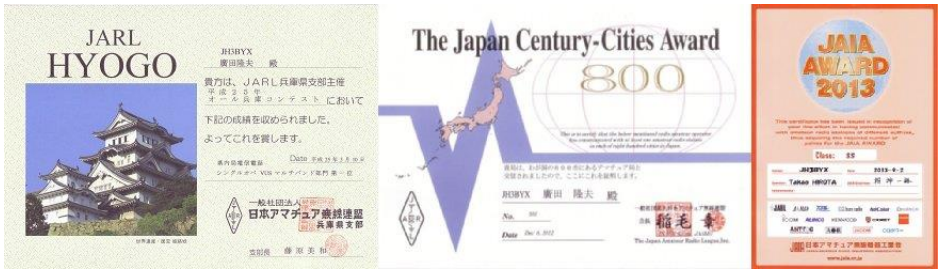
２．全モード・年別交信数



３．表彰状など

今までに頂いたコンテスト表彰状やアワードを少し紹介します。
（自慢するほどのものではありませんが）

１）ＪＡＲＬコンテスト　・２０１２ＡＬＬＪＡ　シルバー関西第１位
　　・２０１０全市全郡　シルバー関西第１位
２）海外コンテスト　・２００６ＡＬＬＢＡＮＤ　１ＳＴ　ＪＡＰＡＮ
３）ローカルコンテスト　・兵庫コンテスト　２０１３ＶＵマルチ県内優勝
４）アワード　・ＪＣＣ８００　・ＪＣＧ５００
　　・ＪＡＩＡアワード　２０１３年　クラスＳＳ



JARL 主催コンテスト（地域クラブ対抗部門）成績の考察

JJ3TBB/堀江章夫

JARL 主催コンテストにおけるJARL 阪神クラブのクラブ対抗地域クラブ部門でのこれまでの実績について振り返り、以下、考察してみました。

	順　位					
年度	ALL JA	6m&Down	フィールドデー	全市全郡	AACW	AAPH
2000	46	31	51	44	51	47
2001	31	30	51	51	52	52
2002	14	17	28	18	52	52
2003	17	38	45	17	28	8
2004	17	12	23	17	52	6
2005	51	12	51	24	16	5
2006	14	9	27	12	10	3
2007	8	9	13	3	6	2
2008	4	6	9	4	2	2
2009	3	9	8	4	2	2
2010	2	7	15	6	2	4
2011	4	8	14	4	3	4
2012	2	6	8	4	3	4

ALL JA コンテスト

- 2007 年以前は、JA3YAA/3 移動局にて電信電話部門マルチオペオールバンドに参戦。
- 2008 年より淡路固定局からの kW 運用で交信数を伸ばし、以降、クラブ対抗地域クラブでトップ５入りを継続。

6m AND Down コンテスト

- 2008 年の JA3YAA/3 移動局の電信電話部門マルチオペマルチバンドでの参戦では、淡路カントリーガーデンの建物屋上にアンテナを設営しての運用で例年より交信数を伸ばし、クラブ対抗地域クラブで６位まで上昇。
- 2009 年も同じ移動地から参加したものの、建物屋上が使用できず、前の駐車場にアンテナ設営しての運用となり、交信局数が伸びず９位にダウン。

・2010～2011 年の間、新たに六甲山系からの運用を試みたものの、京阪神方面が山で遮られ、局数が伸ばせずに順位アップならず。
・2012 年は再び淡路カントリーガーデンからの運用で 6 位に返り咲く。

Field Day コンテスト
・2008～2009 年の JA3YAA/3 移動局の電信電話部門マルチオペオールバンド、フィールドデーステーションＡによる参戦では、交信数 1,000 局を超え、クラブ対抗地域クラブでトップ 10 入りを達成。
・2010 年は 1,000 局に及ばず、また 2011 年は 1,000 局超えを達成したもののフィールドデーステーションＢ（係数 1）での参加のためスコアが上がらず惜しくもトップ 10 入りを逃す。
・2012 年はフィールドデーステーションＡで参戦、再び交信数 1,000 局を超え、クラブ対抗地域クラブでトップ 10 入りに返り咲く。

全市全郡コンテスト
・2006 年以前は、JA3YAA/3 移動局にて電信電話部門マルチオペオールバンドに参戦。
・2007 年より淡路固定局からの kW 運用により交信数を伸ばし、以降、クラブ対抗地域クラブでのトップ 10 入りを継続。

All ASIAN DX コンテスト電信部門
・2006 年以前は、JA3YAA/3 移動局にて Multi Op. Multi TX 部門に参戦。
・2007 年より淡路固定局からの kW 運用で交信数を伸ばし、以降、クラブ対抗地域クラブでのトップ 10 入りを継続。
・クラブ局 JA3YAA は、2008 年と 2010 年に Multi Op. Multi TX 部門で Asia 1 位に輝く。

All ASIAN DX コンテスト電話部門
・2003 年より個人コールによる参戦を開始。
・2006 年 JA3AOP 局シャックの淡路への移転により交信数を伸ばし、以降、クラブ対抗地域クラブでのトップ５入りを継続。

最後になりましたが、これまでのコンテスト参加にあたり、成績アップにつながったと考えられる要因は次のとおりです。
・過去データを元に作成した SPC ファイルの利用
・Z-Server 活用による他バンド交信データの利用
・時間ごとのバンド別の目標交信数の掲示
・他バンド干渉防止（同軸フィルタ、バンドパスフィルタの挿入）
・バンド切り替え時の zlog やアンテナ調整の連動
・50MHz 東西ビーム切り替えの導入
・電信ができるオペレータの増加
・呼び回りだけでなく積極的な CQ の活用

関西ハムシンポジューム 2014

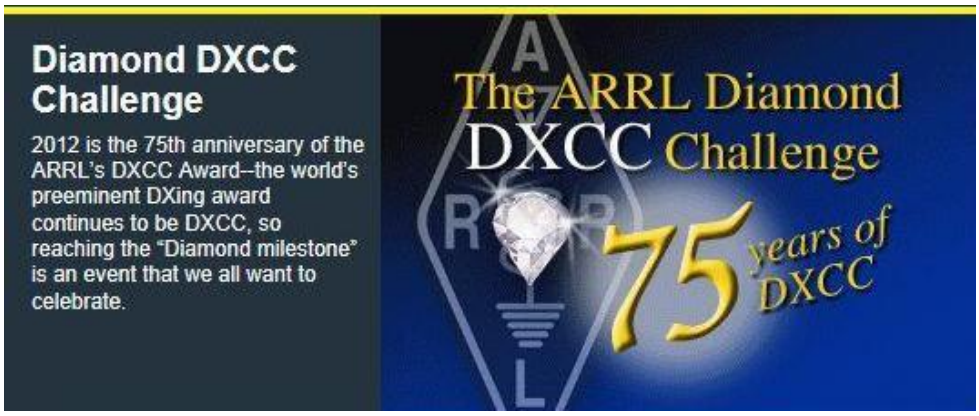
JARL 阪神クラブは「ジャンク市」に出展を申し込みました。皆さんの出品をお願いいたします。
日　時　：　2014 年 1 月 19 日(日)　09:30～15:00
会　場　：　尼崎リサーチ・インキュベーションセンター(付近に有料駐車場あり)
兵庫県尼崎市道意町 7 丁目 1 番 3　http://www.aric-ama.co.jp/

Diamond DXCC Award （私は DXCC と同い年）

JA3AOP/杉山　暁

50 周年記念は Golden Anniversary, 75 周年記念は Diamond Anniversary と言いますが、2012 年は DXCC Award が始まってから７５周年になります。

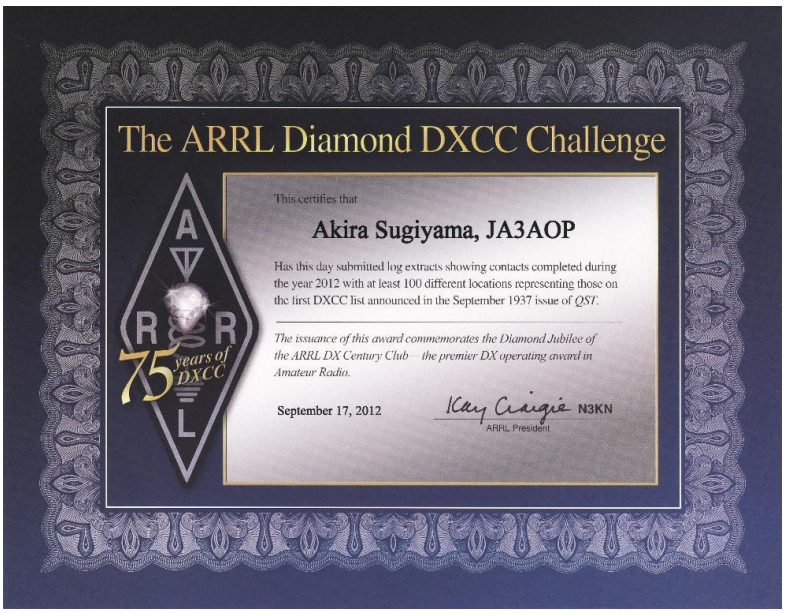
これを記念して 2012 年中に 1937 年当時の 100 エンティティーと QSO し、申請のあった人に Diamond DXCC Award が与えられます。QSL カードの提出は不要で電子申請が出来るので簡単です。



私も DXCC と同い年の 1937 年生まれ、75 周年の記念に Award を頂けないかチェックしてみました。HamLog に納めてある交信記録から、2012 年 1 月 1 日以後の QSO を自分なりに調べたところ、129 エンティティーありましたので ARRL の Web を通じて申請しました。翌日には条件に適さない QSO が 8 個あり 121 のエンティティーで DDXCC Award を受け付けた旨メールがありました。1 週間あまりで賞状が届きました。

インドネシアなどは 1937 年当時は現コールエリアはどのエンティティーに属したとか、旧満州に当たる現在の中国局のコールサイン、先日のペディション局 NH8S は 1937 年のどのカントリーにも属さない、などなど仔細に情報が追加されました。

すでに、賞をもらった後も、自分の集計表に QSO を追加して行けば記録の更新ができ、2012 年末には 138 カントリーと交信することができました。75 歳の節目の年に良い記念が出来ました。



JA3YAA/3　マルチオペでの　ローカルコンテスト参加

JR3SZZ／三枝義典

当局も開局して 40 年が経ちますがホームシャックにはあまり恵まれず、移動運用がメインとなっています。そこで手っとり早く　QSO が出来るコンテスト中心の運用形態となってきていました

YAA のメンバーに加えて頂いてからも、メジャーな国内コンテストに参加させていただいて来ました。杉山 OM の淡路シャックに共用設備として JA3YAA のｋW 固定局が開局してからの成果は皆さんご存じのとおりです。

固定局の活躍を補完する形で 2012 年からは、ローカルコンテストにマルチオペでの参加局が少ない事に目を付け、かつ　阪神クラブのアクティビティ PR という大義名分のもとローカルの近澤 OM とタッグを組んでほぼ毎週末どこかで開催される、コンテストにできる限りの参加をしています。

最初のころは、リグ 1 台でマイクを交互に持ち替えるような運用でしたが、マルチバンド/モード並行運用ができるようアンテナ、無線機、ロギングを少しずつ工夫してきました。また主催されるそれぞれのエリアとの QSO はどの時間、どのバンドで可能かなど作戦を練って参加するようになりました

地方開催のローカルコンテストでは、管外局のマルチオペ参加はあまり多くない傾向です。そのおかげで、エントリーしたコンテストではそこそこの成果が得られていますが、毎回ハード面ソフト面で何らかの障害も発生するのが未熟なところかと思います。毎回欲が出て、装備が肥大化するのも悩みの種です。特に年間数回六甲山中でのテント泊まりは、毎回宴会がメインになり結局スコアが伸びません。今後も体力気力の続く限り、XYL の SWR をチェックしながら移動運用を楽しみたいと思います。

マルチオペに定員は有りませんので、次回は是非ご一緒に楽しみましょう。先輩諸氏のご助言や運用時の援助交信も心よりお待ちしています。

移動時の主な設備　（*全てを同時に持ち込むわけでは有りません）

電源　６００VA ガソリン発電機　（JR3XTO 遺品）　10Ah シールドバッテリー
　　３０A 安定化電源スイッチングタイプ　車載バッテリ
無線機　IC-7000M　IC-7200M　IC-706MK2GS　TS-790　IC-T81
アンテナ　160ｍ　LW+ATU、80ｍ～20ｍ　モノバンド DP、40ｍ～10ｍ
　　G5RV+ATU、15m～6m　2EL 八木、6m　2/４エレ HB9CV
　　144/430MHz　430/1200MHz　GP
ポール　10mグラスポール複数　7m/4mアルミポール　タイヤベース２組
ロギング　Win-XP ノートパソコン２台（Z-Log にてリンク）
その他　USB/CW　IF　自作 CQ マシン　ダンロップ６人用テントなど

主な移動先

- 六甲山　旧六甲オリエンタルホテル付近（神戸市灘区）
- 摩耶山　摩耶山上公共駐車場（神戸市灘区）
- 東六甲展望台　（西宮市）
- 第四工区　（神戸市東灘区深江浜町）
- 六甲アイランド（神戸市東灘区）
- 渦森台４丁目道端　（神戸市東灘区）
- 住吉霊園奥の林道　（神戸市灘区）
- 潮芦屋道端　（芦屋市）

DX Vacation にはまる

JA3JND/AH0BW/T88ON/黒江俊晴

FCC ライセンスを取得した時にお世話になった方との約束事は「米国内の住所は貸すがEXTRA 取得後３年以内に米国またはその統治領から運用をおこなってほしい」
この約束を果たすべく KH0のレンタルシャックから運用したのがきっかけで、4 年連続してオセアニア方面（KH0,T8）へ出かけている。

これらのレンタルシャック、運用者は無線機材のセットアップから始めなくてはならないが、固定局、移動局ともに運用の都度　リグ・アンテナをセットアップする当局にとっては、アンテナが設置されている分だけ手間がかからないので楽である。Hi　初めて出かけた 2010 年11月　１０mRTTYでEU/NAからパイルをあび、帰国後はGSが同封されたSASEが届く。いつもと立場が逆転。EU/NA からみたオセアニアの島々はＪＡからみたカリブ海のような存在に近いようで、「JA の壁」の隙間から当該局と交信しなければならないことや、KH0 からの CW/Phone での運用は多いが RTTY はまだまだ少ないのと、FCC テクニシャンクラスは１０mUP しか QRV できないためか？　＜PSK31,JT65 ならもっと需要が高い＞
同時開催の JIDX コンテストでもＪＡからのパイルを受ける。ハムログから作成した PCK ファイルを使って「〇〇さん　こんにちは」などとやると益々ウケル。雨季から乾季に変わるこの時期は、秋の DX シーズンともあいまって DX Vacation には最高の時期である。
＜台風の隙間をぬったフライトは避けたい＞

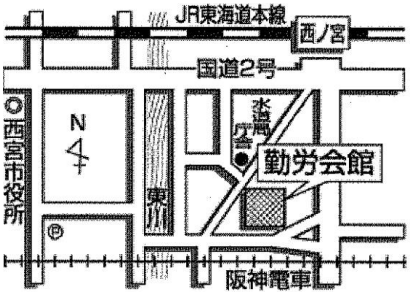
KH0 レンタルシャックのあるホテルは日本人が経営、一階はコンビニエンスストアに居酒屋が・・・流れているのは演歌！　QRV の合間に出かける海のきれいな事。
このときのガイドに「初めてのサイパン」と伝えると「このホテルに普通の観光客は泊らない。何度も訪れるダイバーの常宿」と言われるが、こちらは無線設備優先の予約であり一般の観光客とは価値観が違う。この時の楽しさが忘れられず、翌年も同時期に KH0 を再訪。ディナークルーズにカヤック、シュノーケリングと無線運用。某局から「一度出かけると病みつきになる」と言われていたとおりの道を辿っている。

3 年目はパラオ。ダイバー天国として有名だがシュノーケルでも色とりどりのお魚と戯れることができる。ミルキーウェイでの泥パック、カヤックもお楽しみのひとつ。
パラオレンタルシャックは１０mから２０mまでのアンテナが二重化されており、サイパンよりも快適に運用できたので 4 年目は同行者を募ったところ、JR3QFB 曽根さんに快く承諾していただけたが、渡航直前にアンテナが全て撤去され応急処置で一系統になったのは大誤算。おまけに DU へ上陸した台風３０号はＴ８を経由しておりローバンドのワイヤー系アンテナが全滅。限られた範囲での運用になり、曽根さんには申し訳ないことをしてしまった。SRY OM

これらの渡航は宿泊先が確定しているので、ツアー会社をとおさず全て個人手配で済ませる。UNITED 航空のホームページから座席指定を含めた予約ができ、海外旅行保険もネットで済ませる。チケット購入後、同行者のひとりからキャンセルを申し出られ手続きをしたこともある。今年は賠償責任保険の請求手続きまで経験してしまった。食事もダウンタウンへ繰り出し現地の方と交流を深めるなどパッケージツアーにない面白さを知ってしまったら　やめられない。

来年は、四つ目のコールサインを取得してV63からＱＲＶかと計画を練り始めたが、KH2から V63へは週二便しか就航していない。現時点のダイヤだが水曜日夜に関空を飛び立ちKH2 で１５時間待ち！ Truk で一泊！ 金曜日お昼にやっとV63 到着！
帰路は V63 を木曜日午後にでて KH2 で一泊する必要がある。来年の秋に年金を満額受け取れるようになれば実現できるか・・・もう少しうまいダイヤを探そう。
＜日曜日深夜の便で帰国という手もあるが滞在時間が短すぎる＞

阪神クラブ例会のご案内



毎月第四土曜日 19：00～21：00 まで
西宮市立勤労会館（ 西宮市松原町２番３７号）で
ミーティングを行っています。
＜１２月は第三土曜日　２１日におこなわれます＞

各種コンテスト参加結果報告

オール JA コンテスト　4月２７日（土）２１時から２８日（日）２１時まで
電信電場部門マルチオペオールバンド（XMA）　JA3YAA　：　全国　７位
淡路シャック（１kW固定局）　2,003 交信　250 マルチ　500,750 得点
参加者：JA3AOP,JA3KIO,JA3TIP,JE3KST,JJ3TBB,JO3JYE,JR3SZZ
クラブ対抗部門（地域クラブ）　：　全国　３位

ALL　ASIAN　DX コンテスト（CW）　６月１５日（土）９時から 17 日（月）９時まで
淡路シャック（１kW 固定局） 3,516 交信 9,915 ポイント 272 マルチ 2,696,880 得点
参加者：JA3AOP,JA3KIO,JE3BOD,JJ3TBB,JO3JYE、JR3SZZ

６m＆Down コンテスト　７月６日（土）２１時から７日（日）１５時まで
電信電場部門マルチオペオールバンド（XMA）　JA3YAA／３　：　関西　１位
カントリーガーデン（５０W 移動局） 674 交信 668ポイント 94 マルチ 62,792 得点
参加者：JA3KIO,JA3TIP,JE3KST,JH3BYX,JJ3TBB,JN3QNG,JR3SZZ
クラブ対抗部門（地域クラブ）　全国　９位

フィールドデーコンテスト　８月３日（土）２１時から４日（日）１５時まで
電信電場部門マルチオペオールバンド（ﾌｨｰﾙﾄﾞ ｽﾃｰｼｮﾝ A）　JA3YAA／３　全国　20 位
淡路市（５０W 移動局）　762 交信　758 ポイント　２１３マルチ×２　322,908 得点
参加者：JA3AOP,JJ3TBB,JR3SZZ
クラブ対抗部門（地域クラブ）　全国　１４位

ALL　ASIAN　DX コンテスト（Phone）　９月７日（土）９時から９日（月）９時まで
JA3YAA としての参加はありませんでした。JA3AOP 杉山会長のご活躍が抜きんでています。

全市全郡コンテスト　１０月１２日（土）２１時から１３日（日）２１時まで
淡路シャック（１kW固定局）1,661 交信 1,657 ポイント 1,191 マルチ 1,973,487 得点
参加者：JA3AOP,JA3KIO,JH3BYX,JJ3TBB,JR3SZZ

AA DX コンテスト(CW/Phone)／全市全郡コンテストの結果はまだ発表されていません。

各種コンテストの予定

兵庫コンテスト	平成 26 年１月４日９時～21 時
オール JA コンテスト	平成 26 年４月 26 日 21 時～27 日 21 時
AA DX コンテスト(CW)	平成 26 年６月 21 日９時～23 日９時
６m＆Down コンテスト	平成 26 年７月５日 21 時～６日 15 時
フィールドデーコンテスト	平成 26 年８月２日 21 時～３日 15 時
AA DX コンテスト(Phone)	平成 26 年９月６日９時～８日９時
全市全郡コンテスト	平成 26 年 10 月 11 日 21 時～12 日 21 時

阪神クラブ賞　No. 9999

JA3YAA　見本　殿　特記　SAMPLE

貴局は、本賞発行規程に定める交(受)信を達成されましたのでこれを賞します

これからも「ＪＡＲＬ阪神クラブ」と「ＪＡ３ＹＡＡ」をよろしくお願い申し上げます

六甲山系摩耶山掬星台から、大阪湾～阪神間～神戸方面の夜景　Famous nightview from Mt.Rokko, KOBE city

This certifies that you have kept the honor of acquiring " HANSHIN CLUB AWARD".

Many thanks for your interesting to "JARL HANSHIN CLUB" and club station "JA3YAA".

April 1, 2013

ＪＡＲＬ阪神クラブ 会長 杉山 暁

JARL HANSHIN CLUB - CHAIRMAN - AKIRA SUGIYAMA, JA3AOP

クラブ創立６０周年記念事業の一環として２０１３年４月より「阪神クラブ賞」の一新を図りました。

１．デザインの変更　阪神地区を代表する六甲山系からの１００万ドルの夜景をデザインにとりいれました。
２．条件の緩和　対象７市１０局を、７市から各１局の計７局としました。
３．手続きの簡素化　ＧＣＲを不要とし、自己宣誓方式としました。またＱＳＬの取得も不要とし、交信の事実のみで可としました。申請に当たっては電子メールによる受付けを可としました。
４．申請料の無料化　アワードをＰＤＦファイルで電子メールで送付することを条件に、申請料を無料にしました。（紙に印刷されたアワードを希望される場合は従来どおり）

長年発行してきた「阪神クラブ賞」が将来も末永くアワードファンの目標となるよう、入門アワードとしてハードルを低くするとともに、手続き等の面では時代の趨勢に合わせた変更を加え、定額小為替の購入やＧＣＲ署名の取付けの手間を改善しました。

さて、リニューアルした「阪神クラブ賞」、ＣＱ誌のアワードコーナーでも大きく取り上げていただき、直後には申請が殺到し、アワードマネージャーとしては嬉しい悲鳴を上げることとなりました。４月以降の発行枚数は９月末現在で３６枚となり、その内、８０．５％がＰＤＦによる発行となっています。

阪神クラブ員名簿（平成２５年４月１日現在）

	ｺｰﾙｻｲﾝ	名　前	住　所		別コールサイン
1	JA3EY	永井 弘一	芦屋市		
2	JA3GR	中村　普	神戸市東灘区		JA3SR
3	JA3IU	吉山　保	川西市		
4	JA3ZK	小林 昌夫	神戸市東灘区		
5	JA3AHY	一水 泰徳	西宮市		
6	JA3AJP	武田 幸三	茨木市		
7	JA3AOP	杉山　暁	神戸市東灘区	固定局：淡路市	
8	JA3AWY	水田 悦夫	尼崎市		
9	JA3BTW	前川 眞行	箕面市		
10	JA3DAU	小川 豊邦	川西市		ex V63BJ
11	JA3DGV	久松 亨道	尼崎市		
12	JA3JND	黒江 俊晴	西宮市	固定局：舞鶴市	AH0BW/T88ON
13	JA3KIO	満田 克己	神戸市東灘区		
14	JA3TBD	川口　冶	交野市		
15	JA3TCQ	山田 重夫	西宮市		
16	JA3TIP	中村 篤臣	西宮市		
17	JA3TZT	梅木 昭三	神戸市東灘区		
18	JA3UNV	須崎　章	尼崎市		
19	JA3WLH	平田　茂	神戸市東灘区		
20	JE3BOD	木曽 英介	西宮市		JA4EUF：広島県福山市
21	JE3KST	近沢 里志	神戸市東灘区		
22	JE3RYG	祇園 満男	西宮市		
23	JH3BYX	廣田 隆夫	伊丹市		
24	JH3GXF	安孫子 達	尼崎市		
25	JH3NVW	梶川 俊造	尼崎市		
26	JH3SOB	多田 国昭	伊丹市		
27	JJ3TBB	堀江 章夫	神戸市垂水区	常置場所：豊中市	
28	JK3TKN	塩谷 慶則	伊丹市		
29	JL3EZB	戸田 由理	大阪市生野区		
30	JL3WXS	前田 充彦	西宮市		
31	JN3QNG	吉田 邦夫	芦屋市		JA1SGZ：神奈川県川崎市麻生区
32	JO3JYE	出羽 盛彦	門真市	固定局：赤穂市	
33	JO3QIN	篠原 公介	大阪市平野区		
34	JR3QFB	曽根 賢朗	摂津市		JD1BNX/JG1PJH/W3JH/C6AJH/T88JH
35	JR3SZZ	三枝 義典	神戸市東灘区		AH0BV
36	JS3XZR	川口寿美子	交野市		
37		松尾 誠一	神戸市北区		

編集後記

クラブ創立５０周年記念行事以降を振り返ってみるとクラブとしても、個人としても大きな変化のあった１０年でした。これからも技術の向上やクラブ員相互の親睦を深められる紙面づくりをしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。　JA3JND/黒江俊晴

JARL 阪神クラブ（JA3YAA　JARL 兵庫県支部登録番号　２７－１－１）

http://www.jarl.com/ja3yaa/index.html

代表者　杉山　暁(JA3AOP)　ja3aop アットマーク jarl.com

会費納入先　ゆうちょ銀行振替口座　01110-3-68850　JARL 阪神クラブ

入会金 1,000- 年会費 2,200-

ゆうちょ銀行の口座をお持ちのかたが、ゆうちょ銀行 ATM またはゆうちょダイレクトを利用して阪神クラブ振替口座に送金される場合、送金手数料は無料になります。

※　ゆうちょダイレクト扱いは月５回まで無料、６回目以降は１１０円